

今回は12人が行い当局の考え方を質問しました。  
FM いずのくに(87.7MHz)で生放送されました。

歴史的風致維持

向上計画について



小澤五月江

**問** 重点区域における葦山反射炉・江川邸とその周辺が優先的に進められる理由と、事業に対する補助率は。

**答** 歴史的風致を構成する文化財や人々の活動の維持、発展させる施策の効果地域全体に波及させていく。国の史跡葦山反射炉保存修理事業の補助率は50%。また、江川文庫収蔵施設事業の補助率は70%。

**問** 民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり、賑わいづくりの創出事業の目的は。

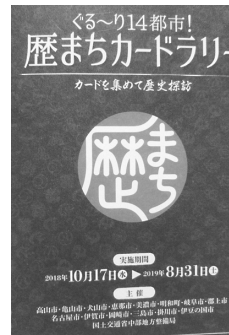
**答** 伊豆長岡見番の建物など情緒ある歴史的建造物の保存と温泉街の活用につなげることやアイデンティティーの維持形成を図ることを目的とする。

**問** 坦庵公思案の道の概要と事業期間は。

**答** 市民が気軽に散策ができ、観光客の回遊性を高めるためにも、周辺の風景と調和された道路の美化化を考えている。事業期間は平成35年から39年度までとなっている。

**問** 歴史的風致維持向上計画に認定されたこの事業を観光資源として活用できる方向性はあるのか。

**答** 国の認定を受けている14市町と連携して、「歴史まちづくりカード」を作成し、それをカードラリーとして認定の市町を周遊することにより交流人口の拡大が見込まれる。



歴史まちづくりカード

市駅伝大会について

**問** 市駅伝の運営の反省点と改善点は。

**答** ①記録集計に時間が90分かかる。②中継点での応援者や選手への対応③交通整理員の不備などある。改善点について実行委員会と検討する。

**問** 表彰までに時間がかかるが。

**答** 表彰式の時間の周知の徹底と式の簡素化や、待ち時間の工夫として有名アスリートの講演会や障がいスポーツ体験を今年もしていく。

**問** ICチップ導入の考えは。

**答** 予算として100万円かかることから導入の考えはない。

平成31年の夏までに  
小学校にエアコン設置を



田中正男

**問** 小学校のエアコン設置に対し、国は平成31年6月までの設置完了に向けての特例交付金としている。交付決定されれば、夏までに設置を完了できないか。

**答** 空調設備の工期については、平成31年度中と考えている。工事契約や工事着工が早まったとしても、子どもが生活・勉強する中での工事は安全確保が難しく、土曜日、日曜日、祝祭日の休日や長期休業中での集中工事を基本とするため、夏までの整備は難しい。

ごみ袋料金の見直しは

処理費用を負担するかの大問題

**問** 市がごみ処理手数料として徴収しているのは、ごみ袋の製造販売代金。見直しするのであれば、ごみ袋代とは別にごみ処理費用を市民から徴収するかの大問題で市民の理解が必要ではないか。

**答** 現在のごみ処理手数料は、指定ごみ袋製造及び販売経費程度をごみ袋の

料金として定めたもので、ごみ処理に係る費用の一部は、ごみを出す方に公平に負担していただくようになっている。

葦山中央農道南北端の

クランク改良を

**問** 葦山中央農道の拡幅が、用水路改修に伴い行われているが、中央農道の南北の両端がクランク状態で通行の妨げになっている。直進改良の努力を。

**答** 南端は、改良に向けて地権者に再度計画の説明に伺った。引き続きご理解を得られるよう努力していく。

北端は、函南町に対して東部農林事務所とともに、葦山中央農道の事業計画と洞川の整備計画の説明を実施している。函南町は現在、新田地区の浸水問題に取り組んでおり、洞川の浸水対策事業の進捗に合わせ、当市と中央農道の道路整備を検討している。



直進改良が望まれる  
葦山中央農道の北端

北条早雲没後500年祭  
への関わりについて

三好陽子

**問** 市民有志の「北条早雲没後500年記念事業実行委員会」が立ち上がった。記念事業に対して市はどのように関わるのか。

**答** 平成31年11月1日、2日にイベントを行なう予定で、実行委員会の進め方や要望により、補助金等による対応を考えている。

## 旧大仁高校の維持管理と活用は

**問** 台風24号による被害、運動場やテニスコートに草が繁茂、排水路の詰まり等で住民が不安を感じている。しっかり管理すべきと思うが。

**答** 県より、「通常の管理は行なっていないのが現状であり、今後検討させていただく」との回答あり。

**問** 運動場を借りることはできないか。通り抜け道路の確保の考えは。

**答** 運動場の整備や維持管理は莫大な費用が掛かるので検討が必要。通り抜け道路は、工事が膨大で借用期間もあり、現状で対応する。



旧大仁高校グラウンド

## 国保税の負担軽減を

**問** 平成30年4月から、国保の運営が県単位で実施されているが、今後の国保税率の引き上げが懸念される。平成31年度の法定外繰入れと国保税率についての考えは。

**答** 平成29年度決算が黒字であったので、法定外繰入れを減額する。国保税率は、基金を活用して少しでも減額できるように調査中である。

**問** 県への納付金から控除されている額（495万円）を活かして、子どもの均等割を減免する考えは。

**答** 年齢要件による減免は、受益に応じた負担と経済的負担能力に応じた負担の原則を崩すので適当でない。

## 屋外広告物の規制について



柴田三敏

**問** 市内の屋外広告物の数は。

**答** 平成28年度に屋外広告物確認調査業務を実施。調査方法は、移動計測車両による現地調査で、主要な幹線道路21路線を調査した。市内に約1800件の屋外広告物が設置されていた。

**問** 市条例施行後の是正状況は。

**答** 平成28年度は、許可済件数約400件であったが、県条例時からの更新による是正指導や、平成29年4月に市条例を施行し規制強化を図った。

その結果、特に違反をしていた野立ての看板を100件ほど是正した。

また、市条例施行後から平成30年10月末までに新規及び更新許可申請が約200件あり、市条例の基準に適合するよう指導している。

**問** 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みは。

**答** 平成28年4月に静岡県と伊豆半島7市6町及び美しい伊豆創造センター、伊豆半島ジオパーク推進協議会で構成する伊豆半島景観協議会が設置された。



花咲く伊豆の国フェア

協議会では平成29年3月に、伊豆半島景観形成行動計画を策定し、東京オリンピックまでに伊豆半島内の約2200件の野立て違反看板については是正完了を目標に取り組んでいる。

## 花や緑を生かした

まちづくりについて

**問** 花咲く伊豆の国運動の取り組みは。

**答** 花咲く伊豆の国推進協議会を中心に市民参加による活動を行っている。

平成30年度は花飾り教室、花育教室花壇づくり講座の開催、おもてなしの花装飾、マーガレット街道整備、公共花壇整備の推進、3月には、静岡県を冠した花咲く伊豆の国フェア2019 in 葦山反射炉の開催を予定している。

市民が気軽に訪れ、憩える新庁舎の建設に向けた取り組みを



梅原秀宣

問 現伊豆長岡庁舎は築40年を経過し、建物の老朽化が著しく、バリアフリー未対応や機能分散による市民サービスの低下、また防災拠点としての機能欠如などの問題点が指摘されているが、市長が考える理想の庁舎とは。

答 誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスが提供できること。市民が集い、市民に開かれ、災害時でも市民の安全が確保できること。また、環境に配慮し、経済性にすぐれており、市やまちづくりの象徴として、市民が誇りを持てる庁舎であること。



伊豆の国市庁舎

問 平成30年4月に合併特例債が再延長されることとなり、本市の期限は

平成37年度末までとなった。このため、先送りとなっていた庁舎建設が現実的な問題となった。そこで、①今後の方向性は。②合併特例債の上限は。

③新庁舎に機能集約した場合の費用削減効果は。④複合化・多機能化への検討は。⑤現庁舎の耐震性能は。⑥歴史と文化の香りがする庁舎にする気はないか。⑦新庁舎建設は未来への投資であり、合併特例債が活用できる今こそ建設に向けて動き出すべきではないか。

答 ①本市の財政状況を踏まえ、公共施設再配置計画の見直しと並行し、庁舎整備基本構想の素案の取りまとめを進めている。②合併特例債発行可能額は197億3010万で借入額の70%が普通交付税措置される。③約31億円の削減効果が見込まれる。④「庁舎のあり方協議会」で付加機能（施設）に関する検討を行っている。⑤平成19年度に耐震補強工事を実施した。⑥郷土資料館、図書館、市民ギャラリーや子育て支援ゾーンなど、併設する他の公共施設については、市民による基本構想検討委員会等を通じて検討したい。⑦行政内部では既にアクションを起こしており、素案からその中身の検討まで進めている。

地域とともにある学校、※コミュニティ・スクールと、子ども若者、高齢者の居場所づくりについて



高橋隆子

問 本市での学校運営協議会制度、コミュニティ・スクールの取り組み内容と今後の方向性は。

答 生涯学習の観点から、社会教育委員会に諮問し、総合教育会議においてモデルとして、大仁北小学校に「北っ子応援ネットワーク」が発足した。今後は全ての小中学校への設置を目指す。

問 子どもの学習支援と教員の負担軽減に地域ができることは。

答 学習支援員、ゲストティーチャーが活躍しているが、人材発掘と確保に地域とともにある学校づくりが重要。

問 インクルーシブ教育にもボランティアが不可欠。放課後の学習支援、校庭の花壇、飼育小屋の手入れ等、地域の力が借りられるのでは。

答 一部は既に地域ボランティアにお願いしている。地域の協力は歓迎。

問 公民館を放課後の子どもたちや多世代交流の場にできないか。

答 市内7カ所で公民館等を開放して子どもたちの学習支援をしている。

問 防災にも地域の絆が第一。市内の県立高校や特別支援学校とも災害時の連携を確認すべき。避難所となる学校は体育館の他に教室も利用できるか。

答 教室の開放も想定し計画にある。

問 PTAの役割は。親以外の祖父祖母や地域住民が積極的に関わることは。

答 地域とともにある学校づくりにはPTAの参画は最も重要。地域全体で盛り上げて応援団になってほしい。

問 「地域の子どもは地域で育てる」と、家庭教育や社会教育、福祉分野でも事業が行われているが、子どもひとりひとりの成長を第一に考えて、一元的に支援する体制づくりが必要では。

答 行政内で意思の疎通、共有をし、全体で応援する体制を続けていく。

※コミュニティ・スクールとは  
文部科学省では学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む、地域とともにある学校づくりを推進している。学校と保護者や地域のみならずが知恵を出しあい、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくりを進める法律」に基づいた仕組みで、学校運営協議会制度という。  
平成29年4月施行。